

秋田県教育委員会 (所在地：秋田県)

事業名

秋田県「障害者の生涯学習支援モデル事業」

事業の趣旨・目的

- ・学校卒業後の障害者の学びの場がさらに拡充し、持続可能な体制の構築を目的として関係者が協議する地域連携コンソーシアムや本事業の周知啓発のための「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会を実施する。
- ・将来的には、全ての県民が、障害の有無に関わらず学び続けることができ、地域で互いを支え合うことができる共生社会の実現を目指す。

事業実施体制・連携先

コンソーシアムの構成員…

大学教授、障害当事者、県手をつなぐ育成会長、県特別支援学校PTA連合会長、県障害者スポーツ協会長、障害者アート団体関係者代表、相談支援専門員、障害者就業・生活支援センター長、市生涯学習課長、県立特別支援学校関係者、県障害福祉課長、県教育庁特別支援教育課長

事業内容

- ①関係機関の参画による地域連携コンソーシアムの形成
 - ・地域連携コンソーシアムの開催（6月、9月、1月）
 - ・委員が得意とする分野や役割を基に協議を重ね、関係機関の連携を強化
- ②障害者の学びの場を継続的なものとするための方策の検討
 - ・県内全市町村教育委員会を訪問して事業説明
 - ・生涯学習講座を継続して実施していくためのモデル講座の実施や仕組の検討
- ③オーダーメイド型社会教育主事派遣
 - ・市町村等の要請に応じて、県の社会教育主事が現地に赴き、対象が抱える課題の解決に協働で取り組む
- ④地域における関係団体・支援者・障害当事者等が参加するコンファレンスの実施
 - ・「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会の開催（会場参加とオンライン参加）



地域連携コンソーシアム



「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」秋田大会

事業終了後の目指す方向性

- ・特別支援学校が配置される市を中心に周辺の市町村や当該特別支援学校、各関係機関等で構成する地区別の連携体制を整え、障害者の生涯学習支援のネットワーク体制を構築する。
- ・地区別の連携体制を整えることで、障害者の生涯学習の取組が持続し、障害者のみならず、発展的に共生社会の実現について協議できる場を設定する。

その他



障害者の生涯学習支援モデル事業
(美の国あきたHP)



秋田県生涯学習センター
調査研究